



～はじめまして、キルギス出身の アナピーヤエバ アゼリです～

私は1989年生まれのキルギス人です。日本ではあまり馴染みが無い国かもしれませんが。私は今まで7年間英語の講師として働いて来ました。キルギスと中国、そして日本では福岡でALTとして働いたことがあり、今月からALTとして都城に来ました。

趣味は美味しいものを食べることで、日本食が世界で一番大好きです。最近納豆も大好きになりました。また、母国で肉は鶏肉以外食べられないのですが、都城では毎週必ず1回は、ハーブ牛のヒレステーキを買って家で食べるくらい肉が大好きになりました。

日本語はまだ勉強中で、もっともっと日本語が上手くなって沢山の都城の人たちと交流したいと思っています。

私の家族について



私は日本人の夫と息子の家族3人で都城に引っ越ししてきました。夫とは、夫が仕事でキルギスに滞在していた時に知り合い、結婚して日本に来ました。私の母国のキルギスで息子を出産しました。息子が生まれてからは夫と話し合い、息子にとって良い環境で生活したいと言う希望があったので、都城は私達にとって理想の街でした。水は綺麗で自然豊か、便利で食べ物が新鮮で美味しい都城で生活出来ることは、家族共々大変嬉しく思っています。

キルギスについて

キルギスは中央アジアにある人口670万人の国で、面積は日本のおよそ半分、国土全体の40%が標高3000mを超える山国です。

元々が遊牧民の国なので、馬に乗れる人が多く、田舎に行くと道で馬に乗った人を多く見かけます。キルギス人が好きな食べ物は肉で、中でも馬肉が最も高級で好まれており、馬乳を飲む機会も多いです。魚はほとんど食べません。公用語はキルギス語とロシア語です。



キルギスの場所は?

日本ではほとんどの人が場所を知らないと思いますが、キルギスは下の地図の矢印で印をつけたところです。分かりやすくするために日本を色付けしました。中国の左にあり、インドとロシアの間の真ん中辺りに位置しています。



キルギスと日本の関係

日本の人はキルギスのことなんて知りません。でも、キルギス人は日本人のことが大好きです。実はキルギスには有名な伝説があります。それは、『肉が好きな人たちが西へ行きキルギス人になり、魚が好きな人たちが東へ行き日本人になった。』と言うものです。この話は多くのキルギス人が知っている話で、私の夫もキルギスに滞在している時に、何人かのキルギス人からこの話を聞いたそうです。

また、キルギス人は日本製品が大好きで、車はトヨタが一番人気で、ホンダや日産、スバルなど、キルギスで走っている車の半数以上が日本車です。

最後に

まだ都城に来て日が浅いですが、これからいろんな所に行って楽しく生活したいと思っています。分からないことだらけですが、みやこんじょの一員として精進して行きたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



アメリカンサマー

～都城市アメリカ国際交流員 セスさんによるアメリカ紹介～

アメリカの夏と言えば、やはりあの季節ですね。最高の気分になりますね。いよいよ自由に生きられる時期ですね。もちろん、学校の終わりの話ですね～。

アメリカでは、5・6月頃に学期が終わり、“出獄”できるようになります。その日が来る前に、先生の目の届かないところに脱出しようとしているガキがいるかもしれませんが、上手く脱出しても成績が悪くなるだけなので、普段はやめておきます。言うまでもありませんが、当然、私は良い子でしたので、脱出なんてせず、最後まで逃げませんでした(;)。

小学校から高校まで大抵6月が学年の終わりで、大学は5月頃です。どの学年でも、アメリカの夏休みは長いです。例外もありますが、夏休みが3か月ほどあるのは普通のことです。アメリカンサマーで最も知ってほしいことは、「アメリカの夏休みの長さは日本の約三倍で、アメリカ人にとって夏休みは、大切な成長の時期である」ということです。



夏休みはテレビゲームばかりやったり、スポーツ部のトレーニングキャンプに行ったり、友達と遊んだりする時期です。アメリカの夏休みは3か月なので、退屈にならないように様々な活動を試みます。



一つの例として、スポーツマンは技術を向上させるために、夏休みの間に特定のスキルに焦点を当てるかもしれません。学校のことを考えずに、気が散ることなく好きなだけ練習が出来ます。



もう一つの例として、友達等とどこかに遊びに行くことが多いです。短期・長期の国内旅行や海外の冒険、幼馴染の家でのパーティー等、友達をつくるのに非常に重要な時期です。「本当の友達は夏に作る」とも言えるでしょう。

もちろん、友達だけでなく、「恋愛の時期」だとも思われます。英語圏にはこの概念を表すため、Summer Fling「夏だけの恋人」という表現もあります。英語圏のドラマをよく見ている人はかなり詳しいかもしれません。学校に行かずに3か月ほど同じ人と時間を過ごせば、花のように「愛」が自然に咲くでしょう。

スピリチュアルな成長もできる時期です。個人的な話ですが、ある夏「静かにする誓い」を立てて、三週間誰にも声をかけなかったり、話したりしませんでした。テキストメッセージも出来る限り見ないようにして、言語なしの生活を送りました。結論として、長期であるアメリカの夏には、何でもできるので、やりたいことをやり放題できる季節です。皆様は、そんな暇な時間があれば、何をしたいですか？



「ブックフェスティバル」 ～都城市モンゴル国際交流員 ヒシゲさんによるモンゴル紹介～

デジタル社会の今、情報機器の発達・生活環境の変化・余暇活動の多様化によって本離れが進んでいます。その一方で、モンゴルでは近年、読書の魅力や楽しさを伝える「ブックフェスティバル」が毎年5月と9月に開催されます。



今年の「ブックフェスティバル」に約25万人が訪れたそうです

ウランバートルの中心部にあるスフバートル広場で3日間にわたって行われ、出版社や作家などがブースを出して本を直接販売します。通常より安い価格で売る出版社もあり、若者も気軽に本の文化に触れられる大事なイベントです。私もブックフェスティバルが大好きで、よく行っていました。実際に作家に会ってサインしてもらったり、古書を巡り会ったり、ずらりと並ぶ本を自由に読んだり、最高の時間を過ごせます。



今年のテーマ「もっと本を読もう！」

このイベントはウランバートル市だけではなく、各地域にて同じ日に開催されます。その他にも、読まなくなった本を交換したり・寄付したりする素敵なイベントもあります。



～協会からのお知らせ～

◇モンゴル語講座 入門編 受講生募集！

モンゴル語講座を開講します。簡単なあいさつや文字などを勉強します。

日 程： 6月19日～7月24日 毎週水曜日(全6回)

時 間： 18:30～20:00

場 所： 都城市役所北別館1階
2階 共有会議室

講 師： ヒシゲさん
(都城市モンゴル国際交流員)

受講料： 無 料

定 員： 15名(先着順)



お問合せ・お申込み： (一社)都城国際交流協会(MIA)
まで電話、E-mailをお願いします。

電話 0986-23-2295

E-mail mia@btvm.ne.jp

◇令和6年度、第1回総会を開催します。

令和6年度、第1回一般社団法人都城国際交流協会総会を開催します。会員の皆様のご出席をお願いいたします。正会員の皆さまには、御案内を送付しております。

日 時： 令和6年6月25日(火) 14:00～15:30

場 所： 都城市役所 南別館 4F 第1大会議室

*総会終了後、都城市国際交流員による国紹介(モンゴル、アメリカ、中国)を予定しています。

※出席のご連絡は、都城国際交流協会まで電話、メール、文書でお願いします。

お問合せ： (一社)都城国際交流協会(MIA)まで電話、E-mailをお願いします。

電話 0986-23-2295

E-mail mia@btvm.ne.jp

～協会からのお知らせ～

◇令和6年度都城高専 前期教養講座 募集案内

80年代から流行した英語のポップソングを聴きながら、歌詞に込められたメッセージや表現の工夫を読み取り、多様な考え方や価値観にふれていきます。単なる流行歌で終わらない、ポップスの持つ魅力や奥深さを再発見していきましょう。英語好き、音楽好きであればどなたでもご参加いただけます。

開催日時: 令和6年7月26日(金)、8月2日(金) 全2回
午後6時30分～8時30分

対象者: 市民一般
(高校・大学生、一般成人、初心者向け)

募集人員: 15人(応募者多数の際は抽選の場合があります)

場所: 都城高専 図書館1階 ICTみやまルーム

申込期間: 6月14日(金)AM9:00～6月28日(金)必着

講習料: 無料 ※別途、配布資料代等として300円が必要です。

申込手続: FAX、メール・はがき、インターネットの何れかの方法で、6月14日(金)AM9:00から申込めます。(申込開始日以前の申込みは無効となりますのでご注意ください。)

お申込み・お問合せ先:

都城高専 総務課企画係

(受付時間 平日8:30～17:00)

TEL: 0986-47-1306

(原則、電話でのお申込みはできません)

FAX: 0986-38-1508

Eメール: kikaku@jim.miyakonojo-nct.ac.jp

(携帯電話等からも可能です)



申込用QRコード

編集部より

皆さん、こんにちは。

突然ですが、本協会の西田代表理事と国際交流員の張麗霞さんの3人で5月に中国の重慶市に行ってきました。もちろん、観光ではなくお仕事ですよ!「重慶国際友好都市協力大会」というものに参加してまいりました。

初めての中国。ビザの申請で福岡にある総領事館に行ったらドキドキ。飛行機に乗って、入国審査を受けるのにビクビク。重慶市入りしてからVIP待遇にビックリ!重慶市の街の大きさに口がアングリ。重慶の街の人々のやさしさにほっこり。

これで、だいたいの感想は伝わったでしょうか?

ん?伝わらないですか!?では、もう少し感想を...

初めてなのに懐かしい、古い街並みと近代的な高層ビル、美しい山河と幾重にも交差する立体的な交通網、いろいろなものが混沌としていて、けれど調和のとれた美しい街、それが重慶でした。また訪れてみたい街の一つになりました。

でも、その前に中国語を勉強しなくちゃです。

[亀谷]

皆さん、こんにちは。今回もこりずに『全国行ったつもりでぶらり旅コメント』つづけますよーm(。)m

前回から四国編に突入しています!!今回は徳島県に行ったつもりいー。徳島県と言えば、言わずと知れた阿波踊り、鳴門大橋や渦潮、柑橘類のすだちなどが有名で人気ですよ。

そんな徳島県を旅した時に徳島出身の友人から「カツ食べるかぁ!」Σ(㉨)と聞かれ、「食べる。食べたい!」と返事すると、「まーカツは昼飯の後やな～」と言われ、どんだけ食いしん坊なんだあと思ったのを覚えています。その後その正体を知ることになるのですが...徳島名物のご当地グルメで「カツ」と言えば、魚のすり身を薄く揚げた「フィッシュカツ?」のことを言うのだとか(㉨) (㉨)

実際、とても美味しくて、これならおやつ感覚で食べられると納得。近年は世界各地でカニカマなどのスリミがブームみたいなので、もしかしたら、世界のフィッシュカツとなる日も近いかも(@^) / ~~~

[西畑]

こんにちは!梅雨の季節がやってきますね～

私は先日、滋賀県に出張に行ってきました。47都道府県のうち、記念すべき20番目に訪れた県です(^) /

2泊3日の研修中、2日間雨だったので琵琶湖散策を諦めていたのですが、3日目によく晴れたので、研修仲間と朝ごはんのパンを買って念願の琵琶湖に行くことができました。思ったよりも大きく、湖というより海!磯の香りがするんですよ(* ㉨) そして唐崎神社という神社で朝ごはんを摂りながら、しばし湖の水面を眺めてゆっくりした時間を過ごせました。大満足の出張研修だったのですが、うっかり近江牛を食べ忘れてたので次回リベンジしたいです♪

[中瀬]

日本の「子供の日」は5月5日ですが、中国では、6月1日が「子供の日」で、「六一国際儿童节」と呼ばれています。当日は、14歳未満の子供は学校の授業がなくて、子供のための各種イベントが行われます。そして、この日は、子供に限り、遊園地や映画館などが、半額か無料になるので親子連れで賑わいます。でも、親は休みにはならないので、休暇を取る人も少なくありません。祖父母も含め、皆で子どものためにスーパーなどで買い物(プレゼント)をしたり、外食をしたりして一緒に過ごす家庭が多いです。子どもにとっては最高の日と言えるでしょう。

うちの子が小さい時、子供の日はよく本屋で過ごしたものです。その日、子供向けの本は割引になるので、好きな本をその日にまとめて買いました。今年はもう15歳なので、法律上はもう子供ではないですが、やはり子供の日にお小遣いをあげて、好きな本を買わせました。

[れいか]

Καλημέρα!(ギリシャ語で「おはようございます」)

当たり前のことかもしれませんが、本当に日本から海外に来た感じですね。みんなは共通言語として英語を使っているのに、喋り方からレストランの文化に至るまで、アメリカや日本などと比較すれば、すべてのことが異なります。例えば、レストランで注文する際に、「これください」と言ったのに、店員さんに断られました!!セス:「Mythosというビールを1本ください」ウェイター:「いや、君は生ビールを飲む」と命令されました!ここまで、ギリシャではこういう経験が少なくありません。しかしながら、ギリシャ人はいい意味でフランクだし、とても親切で素直な人です。まだ旅行中なのに、もうまた行きたくなくなっちゃいました。アメリカ、日本、そしてギリシャの文化を感じることで、世界中の人々の考え方や気持ちなどを理解できるようになりました。良い経験になりましたね～ああ、またギリシャの海の砂でのんびり昼寝したい～というわけで、そろそろ帰りますね。日本、マイホーム、もうすぐ戻るよ!少しだけ待っててね!:) [セス]

今年のゴールデンウィークは、中国の元交流員の銭ちゃんに会いに上海に行ってきました。中国も労働節で1週間休みでした!どこに行っても国内と海外の観光客で賑わっていました!人の多いところが好きな私には、上海のにぎやかさはとてもとても楽しかったです。上海の食べ物は美味しい!モンゴルや日本だったら、レストランで注文する香魚肉などを銭ちゃんの両親に作ってもらったり、街グルメを満喫したり、楽しい思い出をいっぱい作りました。空にそびえる建物、街中の若者のファッション、地下鉄に乗るときの持ち物検査、ボリュームのある中華料理...全てが新鮮でした。銭ちゃんのお陰で充実した5日間を過ごすことができました。また、上海へ遊びに行きたいと思います!

[ヒシゲ]

今年の冬は、ハイビスカスの地植えの越冬に挑戦しました。厚い段ボールで囲い、藁を入れ、ビニールと段ボールで作った蓋のようなものを每晚被せ、天気のいい日は、日向ぼっこをさせました。しかし、5月の中旬になっても、芽は出ず、枝は枯れていました。先日、引きこがそうと近寄って見たら、小さい青い芽がありました。生きていたのです。早速、根元の草を取り、肥料と水をたっぷり上げました。朝晩、様子を見ています。

[藤元]

娘が漢字辞典を参考に、習った漢字の組み合わせで言葉を選び、漢字ノートの宿題をしています。「色」の時に「色男」「色気」と書いていて、困ってしまいました。この漢字は書き直したくないという娘を、確かにどちらも習ったばかりの漢字の組み合わせで漢字辞典にもっているけれど、小学二年生が宿題に書いていたら先生がびっくりするかもしれない、と説得して「色いろ」と無難な言葉に書き直してもらいました。

[迫田]

子供に教えてもらうことが多いです。この間、園児の子供に、モンゴル語でお話をしようと言ったら、「モンゴル語で考えないといけいから、日本語でお話をしよう」という返事が返ってきました。その言葉に言葉を失う私でした。

[ソヨ]